



平成 29 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社ピーエス三菱
 代 表 者 代表取締役社長 藤井 敏道
 (コード番号：1871 東証第1部)
 問合せ先 管理本部副本部長
 兼経営企画部長 松本 敬
 (TEL. 03 - 6385 - 8001)

「中期経営計画 2016 (2016 年度～2018 年度)」数値目標の一部変更に関するお知らせ

当社は平成 29 年 11 月 9 日開催の取締役会において、「中期経営計画 2016 (2016 年度～2018 年度)」の最終年度の数値目標について、下記のとおり一部変更することを決定しましたのでお知らせいたします。

記

I. 「中期経営計画 2016 (2016 年度～2018 年度)」の最終年度 (2018 年度) 数値目標の変更について

(単位：百万円)

連 結 数 値	2016年度実績 (平成28年度)	2017年度見通し (平成29年度)	2018年度 (平成30年度) 目標	
			変更前	変更後
受注高	103,013	112,000	113,000	114,000
売上高	96,715	116,000	110,000	113,000
営業利益	3,687	4,700	2,900	3,800
営業利益率	3.8%	4.1%	2.6%	3.4%
経常利益	3,454	4,600	2,800	3,700
経常利益率	3.6%	4.0%	2.5%	3.3%
ROE	11.2%	13.0%	7.7%	9.8%
ROA	4.7%	5.9%	3.8%	4.7%
D/E レシオ (倍)	0.49	0.45	0.48	0.42
配当性向	21.3%	22.0%	計画期間で平均23%以上	26.7% (計画期間で平均23.3%)

年間配当金	12円	16円	10円	16円
-------	-----	-----	-----	-----

II. 変更の理由及び今後の方針について

「中期経営計画 2016 (2016 年度～2018 年度)」の数値目標については、東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設需要の増加とともに人件費、資材費の上昇懸念や受注競争激化等を見込んでおりましたが、当初予想より比較的落ち着いた状況で推移しております。また、企業業績も好調に推移しているなか、民間設備投資も底堅い動きとなっており、公共投資についても国土強靱化施策などにより高い水準を維持しております。

このような経営環境下において、当社の収益力も大きく向上し、2016 年度実績及び 2017 年度見込も中期経営計画数値目標を達成する状況であるなか、受注競争の激化や資材費・人件費上昇懸念も含め総合的に勘案した結果、計画最終年度である平成 30 年度 (2018 年度) の数値目標を変更することといたしました。

なお、中期経営計画 2016 の基本方針、基本戦略など変更はありません。引き続き主軸である新設橋梁工事と一般建築分野では採算性を重視し、土木部門では、維持補修・メンテナンス分野への経営資源の集中、建築部門では、PC 建築事業の拡大を推進してまいります。

以 上